

国道8号で除雪作業

長岡周辺、通行止め解除

県内業者など

記録的大雪に対応するため派遣された国土交通省高崎河川国道事務所と県内の建設業者が20日夜、新潟県長岡市周辺の国道8号で除雪作業を行った。作業は順調に進み、21日朝に通行止めは解除された。

国道8号では断続的な雪で車の渋滞や立ち往生が発生、一部区間が通行止めとなった。北陸地方整備局の要請を受けた国交省の指示で、20日に緊急災害対策派遣隊(TIEC-FORCE)

の同事務所職員2人と大型除雪車2台が出動した。除雪作業にはノウハウが求められるため、オペレーターとして協力する沼田土建(沼田市)の5人も同日午前に出発、夕方に現地入りした。

一行は北陸地方整備局や現地業者らと打ち合わせした後、他の関係機関が立ち往生した車両を救出するのを待って、同日午後6〜11時ごろに重機で路上の雪を排除した。



作業に当たるロータリー除雪車
＝20日夜、新潟県長岡市(提供)

現地に入った沼田土建の関章一さんは「1尺以上の積もっていて、水分を含む重い雪だった。地元の人

は不安だったと思う。隣県でもあるし、今後も助け合えるといい」と話していた。
(高野聡)

新潟大雪対応で尽力



沼田土建

ロータリーによる除雪作業

沼田土建(群馬県沼田市、青柳剛社長)は20日、新潟県内の大雪に対応するため、北陸地方整備局長岡国道事務所長岡維持出張所管内に社員を派遣した。同局から要請を受けた国土交通省が、関東整備局

に協力を依頼し、高崎河川国道事務所が同社に協力を求めた。高崎河川国道事務所も同日、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)として職員2人のほか、除雪グレーダー1台、ロータリー除雪車1台を派遣した。 〓 8面参照

道路除雪作業は、同社のオペレーター3人、助手1人、現場代理人1人が20日夕方から午後11時にかけて実施した。TEC-FORCEは連絡調整を担当した。

除雪作業を担当した戸部浩現場代理人(沼田土建)は「全く知らない道路だったが2車線で路側も広く、マンホールや障害物もなく、スムーズに作業ができた」と語った。青柳社長は「災害対応は広域支援が大事だ。相互に助け合い、一刻も早いライフラインの整備が重要になる」と話した。

沼田土建 長岡市に除雪機械派遣 青柳社長「広域支援の備え生きた」



沼田土建（群馬県沼田市、青柳剛社長）は、記録的な大雪となった新潟県長岡市に除雪機械とオペレーターを派遣した。関東地方整備局高崎河川国道事務所の要

請を受けて対応。20日午前からロータリー除雪車や除雪仕様のグレーダーが関越自動車道を北上しながら現地に急行。同日夕方から午後11時ころまで国道の除雪作業を行った。写真。21日午前中も現地で活動した。

記録的な大雪のため新潟県内は国道8号や17号で車両の立ち往生などが発生した。8、17号は21日午前に通止めが解除された。青柳社長は「沼田市は幸い降雪がなく、支援できた。広域支援という非常時の備えが役立った」と話した。同社は福井県の大雪でも緊急活動を行った実績がある。